

事業内容、事業の効果に関する写真（2015年3月24日～2016年3月23日）



SRI 農法の導入：事業対象世帯の 77%の農家が導入した。収穫高調査の結果、伝統的稲作農法に比べ収穫高が 1.38 倍高かった。



家庭菜園の導入：家庭菜園を営む農家は総計 4,002 世帯、事業対象世帯の 68%となった。



養鶏の導入：養鶏を営む農家は総計 3,245 世帯となり、事業対象世帯の 55%となった。



養豚の導入：養豚を営む農家は総計 591 世帯となり、事業対象世帯の 10%となった。



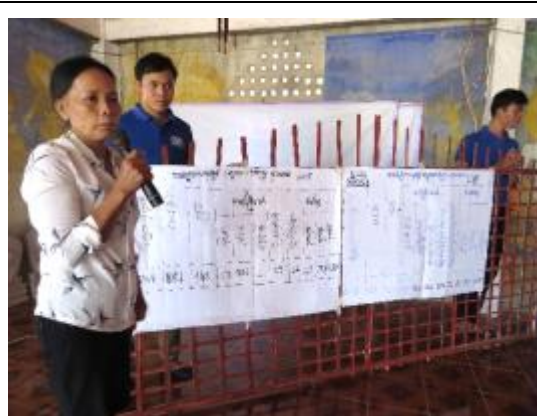
5 歳未満児の栄養不良率の減少：5 月と 11 月に実施した身体測定の結果、5 歳未満児の栄養不良率が 29.9%、25.3%と減少した。



補完食の普及率の向上：過去 2 週間に補完食を調理した母親を持つ子どもの割合は 50.2%(5 月)、59.6%(11 月)であった。



農家のネットワークの構築：2 地区にて農民組合が結成され、第一回総会が行われた。さらに56の農民グループが新たに形成され、農民グループ総数が127となった。



計画策定に対する農家の参加：次年度の数値目標が各村にて話し合われ、村年次開発計画に盛り込まれた。それらが地区ごとに集約され、地区年次開発計画の策定に反映された。



作成した IEC 教材① 家庭菜園技術ポスター



作成した IEC 教材② 養鶏技術ポスター



作成した IEC 教材③ 養豚技術ポスター



作成した IEC 教材④ 栄養ガイドブック



作成した IEC 教材⑤ 補完食普及バナー



作成した IEC 教材⑥ 補完食レシピスティッカー及びブックレット